

## 第8回 評議員会 議事録

東京ビルメンテナンス政治連盟

- 1 **開催の日時** 平成 28 年 2 月 25 日（木）午後 2 時 00 分～午後 2 時 57 分
- 2 **開催場所** ビルメンテナンス会館 2 階会議室
- 3 **現在評議員数** 評議員 25 名
- 4 **定足数** 評議員 17 名
- 5 **出席者** 評議員 24 名（出席 20 名、委任状 2 名、議決権行使書提出 2 名）
- 6 **議長** 中央ビルサービス(株) 代表取締役社長 島岡 秀文氏
- 7 **議事録署名人** 島岡議長、高橋利之氏（中央建装(株)代表取締役）
- 8 **審議事項**

第 1 号議案 平成 27 年事業報告承認の件

第 2 号議案 平成 27 年収支決算報告承認の件  
—監査報告—

第 3 号議案 平成 28 年運動方針案・事業計画案承認の件

第 4 号議案 平成 28 年収支予算案承認の件

### 9 その他

- (1) 意見交換等

### 10 議事の経過及び結果

#### ※ 来賓あいさつ（中川雅治参議院議員、宇都隆史参議院議員）

冒頭、本評議員会の開催に当たり、品確法改正に中心的な役割を果たし、「ビルメンテナンス業務発注に関するガイドライン」の策定にも多大なご尽力をいただいた、ビルメンテナンス議員連盟事務局長の中川雅治参議院議員、及び同じくビルメンテナンス議員連盟の宇都隆史参議院議員にご同席をいただき、お二人よりごあいさつをいただいた。

中川先生からは、ガイドラインには、ビルメンテナンス業務特有のいろいろな配慮事項を書き込むことができたし、また途中で最低賃金額が改定された場合、遡って契約自体の金額を変えてほしいという要望、——毎年続いていたが、これもまたガイドラインに書き込むことができたということは、極めて画期的なことだとのあいさつがあった。

両議員は、来たる参議院選挙に改めて出馬する意向を示され、中川雅治先生は、東京選挙区で3回目の立候補、宇都隆史先生は全国比例区で2回目の立候補という決意表明がなされた。

佐藤理事長から、ご多忙の中のご臨席いただいたお礼と、7月の参議院選では、精一杯支援していきたい、今後ともご指導、ご鞭撻いただきたい旨の挨拶があり、お二人は退場された。

## 1 理事長あいさつ

### ○佐藤理事長

参議院議員の中川先生、宇都先生より、業界に対する連帯の気持ちを込めたごあいさつをいただいた。嬉しい限りである。

先生方は、国会のビルメンテナンス議員連盟に所属されているが、今年7月に行われる参議院選挙では、ビルメン業界の要望を実現する活動の一環としても、先生方の支援を、力強く行いたいと思っている。皆様のご協力をよろしく願います。

年明けから株価の乱高下、昨年10月から12月期のGDP速報値が0.4%の減、ビルメン業界を含めた人手不足や人件費高騰の影響等、現状は大変厳しい経営環境に置かれている。品質重視と適正価格を明確に打ち出したガイドラインの役割は極めて大きいわけで、官公庁物件におけるダンピング入札をやめさせ、品質重視の流れを民間物件にも拡大していくことは、最重要課題である。

当政治連盟として、引き続き国会議員、都議会議員の先生方のご協力をいただきながら、業界要望の実現のため、着実な活動を進めるので、変わらぬご支援、ご協力をお願いします。

さて、4月4日より東京フォーラムで世界ビルメンテナンス大会が開催される。世界中から同業の仲間が集い、交流する貴重な機会である。このビルメンテナンス協会活動に奮って登録、ご参加をいただき業界活動の思い出の一つとしていただきたい。

島岡評議員には第1回評議員会から続けて議長をお願いしている。心より感謝申し上げます。議事の進行をよろしく願います。

## 2 審議事項

### 第1号議案 平成27年事業報告承認の件

横田幹事長より、次のとおりの提案説明が行われた。

第1、「東京都所有の建築物の維持管理に関する要望活動」では、昨年9月に都議会自民党、公明党、民主党に対して要望活動を行った。

要望項目、第1項目として、「ビルメンテナンス業務に関するガイドライン」について。

第2項、「総合評価制度及び複数年契約制度の拡充に関すること」で新たに総合評価方式の適用案件すべてに価格点上限を設定していただきたいということ。

第3項目、「契約内容の履行確保と入札参加資格審査」。(2) 総合評価案件以外でも適切な追加調査の実施や、また履行確保のために積算内訳書、業務履行提案書や誓約書の提示を求め完全履行を実現させるべきであること、(3) 知事登録や医療関連サービスマークを考慮すること等を要望した。

こうした要望に対し進捗状況として、6月に都議会自民党ビルメンテナンス議員連盟の取り計らいで、財務局との意見交換が実現し、直接要望を伝え、意見交換ができたことは大変有意義であった。

東京都としても「ガイドライン」を真摯に受けとめており、品質重視の入札・契約制度改革に反映されている。

また総合評価の案件数の増加があったこと、価格点と技術点の割合が1対1から1対2に変更されたこと、一部案件の価格点上限が設定されたことなど、技術点優位の制度改革が行われている。

また平成29年度の契約からは、社会保険加入等事業者による入札の先行実施などの改革が進められていること、障害者雇用率を達成している事業者のみが入札できるモデル入札の試行も行われる予定である。

以上のとおり、都議会自民党ビルメンテナンス議員連盟の先生方の協力を得ながら、地道に活動することで、一步一步であるが着実に成果は上がっているものと考えている。

第2、「関係法令等の改正に関する運動」では、要望書を自民党東京都連に提出し、東京選出の国会議員の先生方を通じて要望実現のための運動を行った。これも厚労省より発出された「ガイドライン」に関する事項を第1番目に据え、品質重視の入札・契約制度改革で、その方向性をさらに確実なものにするための要望である。先ほど中川先生からも話があったように、品確法の対象となっていなかった国立病院機構や国立大学等、全ての特殊法人、独立行政法人、国立大学法人、地方独立行政法人等も対象としていただきたいこと、ガイドラインの周知徹底等を要望した。ビルメンテナンス議員連盟の事務局長である中川先生のご尽力により、ガイドラインの参考送付など、迅速な対応をいただいている。

第3、「ビルメンテナンス業界の理解者である議員・候補者の応援」、第4、「広報活動」と、記載のとおりであるが、7月には、参議院選挙があるので皆様よろしくご協力をお願いする。最後に、理事会など会議等の実施を記載している。

以上、平成27年の政治連盟事業報告である。

## **第2号議案 平成27年収支決算報告承認の件**

高安会計責任者より、次のとおり平成27年収支報告が行われた。

平成27年収入の総額は2,493万円。内訳として、前年からの繰越額が987万円、27年収入額が1,506万円である。(1) 機関紙発行その他の事業収入、(2) その他の収入、つまり東京協会と共催した新年賀詞交歓会のお祝金と受取利息の額である。

支出の総額は1,283万円。経常経費255万円、政治活動費1,004万円そしてその他の支出23万円である。

経常経費は東京協会との事務委託契約に基づくもの、政治活動費は、全政連の機関紙の購読料、評議員会、理事会の開催の費用、新年賀詞交歓会開催費等の組織活動費が786万円、選挙関係費、昨年度は支出無しで0、広報活動費、——機関紙「東京ビル政連」、年4回の発行とホームページの制作費で218万円となっている。

その他の支出、平成26年会計賦課消費税23万円を加え、支出合計が1,283万円。

27 年収入合計が 1,506 万円であるので、支出合計の 1,283 万円を差し引き、当期収支が 222 万円のプラス、これに前年度からの繰越額 987 万円を加え、「翌年への繰越額」は 1,209 万円。

以上が、平成 27 年の収支決算報告である。よろしくご審議のほどをお願いする。

#### **監査報告**

大村監事より、財政状況は健全で、適正に運営されているとの監査報告が行われた。

#### **■採決**

以上より、1 号議案、第 2 号議案各々で採決がなされ、満場一致で承認された。

#### **第 3 号議案 平成 28 年運動方針案・事業計画案承認の件**

横田幹事長より、次のとおり提案説明がなされた。

運動方針は、昨年のガイドラインをもとに、今年も議員の先生方との連携を深め、要望活動を進めていきたい。また、各種団体協議会や全国ビル政連との協調を進めていきたい。

事業計画についても、東京協会と連携し、都議会ビルメン議員連盟の先生方と要望活動を行うとともに、国に対しても国会議員の先生方や全政連と連携して活動を行いたいと思う。

今年は、先ほど来から話題になっている参議院選挙もある。4 号議案でもご審議いただくことになるが、中川先生、宇都先生が出馬される予定であり、選挙の支援活動を行いたいと思う。そして、機関紙を今年も年 4 回発行し、ホームページについても随時更新を行うことで情報発信をしていきたい。

ご審議のほどをお願いする。

#### **第 4 号議案 平成 28 年収支予算案承認の件**

高安会計責任者から、平成 28 年予算案について、次のとおり提案説明がなされた。

収入の部、機関紙発行その他の事業収入、機関紙購読料、機関紙広告掲載料を合わせ、1,493 万円。その他の収入 10 万円、27 年からの繰越額 1,209 万円を含め、収入合計は、2,712 万円を見込む。

支出の部。まず経常経費、——東京協会との事務委託契約により人件費 178 万円、備品・消耗品費 31 万円、事務所費等 45 万円、合計 255 万円。次に政治活動費。内訳、組織活動費、全政連機関紙購読料、理事会・評議員会開催費用、新年賀詞交歓会開催費用、パーティー券購入等で 837 万円。選挙関係費、——今年は参議院選挙、場合により衆参同時選挙も考慮して、選挙対策費 300 万円を見込む。これに広報活動費、年 4 回発行の機関紙「東京ビル政連」の制作やホームページ制作費として 253 万円、以上で政治活動費 1,390 万円。

以上より、その他の支出、平成 27 年度会計賦課消費税 24 万円を加え、支出合計が 1,670 万円と見込む。収支差額、つまり翌年への繰越額が 1,042 万円である。

以上が、平成 28 年収支予算案である。よろしくご検討いただきたい。

#### **■採決**

以上より、採決に入り、第3号議案、第4号議案、各々提案通り全会一致で承認された。

### **3 その他**

#### **意見交換等**

その他、意見交換等に移り、参考資料も配付され、鷺見事務局長より次のとおり資料の説明がなされた。

せっかくの機会であり、評議員の皆様のご意見を伺いたいと思い、そのきっかけとして参考資料を説明する。

#### **<資料1 各種団体に対するガイドライン送付について>**

資料1は、先ほど来、中川先生自身から説明があったもので、厚生労働省の生活衛生課長から各団体事務局に対し、ビルメンテナンス業務に関する発注ガイドラインを参考にしてくれ、という主旨の事務連絡の通知である。これは、横田幹事長の説明にもあったとおり、我々から、対象となっていないほかの団体にも出してくれという要望をし、すぐに、ひと月ほどで実施していただいた、中川先生の力がいかに大きいかと感じた次第であるが、その資料である。

#### **<資料2 財務局契約二課発表資料（社会保険加入、障害者雇用）>**

これは、東京都財務局の通知で、社会保険の加入、法律に基づいた加入を徹底する、発注者である東京都もきちんとそういうものを見るべきではないかという要望をずっと掲げている。実際に社会保険に加入させない業者との価格での競争が不公平になるということに基づいた要望。そうした要望を受け、加入促進について東京都が努力しているという通知である。障害者雇用促進についても、政連として要望しており、——これは企業にとってつらい場合もあると思うが、障害者雇用率を確保しているところだけが参加できる入札、これに対し今回初めて新たなモデル入札が導入されたということである。協会の立場で言えば、障害者の指導員の講習等を行っており、そちらの方向に会員企業の方もご努力されていたかと思う。

#### **<資料3 平成28年度総合評価入札案件一覧>**

総合評価方式を増やしていくという東京都の姿勢であるが、28年度の準備契約では、合せて二十数件が総合評価方式の案件になっている。

#### **<資料4 ビルメンテナンス議員連盟名簿>**

国会のビルメンテナンス議員連盟のメンバー、都議会のビルメンテナンス議員連盟のメンバーのリストである。こうした方たちを中心に支援している。

以上をもって閉会の運びとなり、島岡議長は、第8回評議員会の終了を宣し評議員会は終了した。

(了)